

地域活性化研究 選考審査基準

応募された地域活性化研究の中から、助成の対象となる事業を選考するため、次の審査基準を設ける。

1 審査方法

審査項目に基づいて書類審査を行い、得点が上位の事業から助成対象とする。

また、2か年にわたる研究の2年目の審査では、最初に「2か年助成する妥当性」について再審査を行い、結果が妥当であれば助成対象とする。なお、不当の場合は、他の申請事業と同様に審査を行うものとする。

※ 得点は、審査委員の合計点を審査委員数で割った平均値で算出する。

※ 助成対象が同一の学校、テーマ等の案件であっても、原則として得点の順位どおり助成対象とする。

※ 地域活性化研究の予算90万円の範囲内又は学生の夢実現プロジェクトの助成対象（選考結果）を勘案し、同プロジェクトの予算275万円の範囲内で助成可能となった場合、4位以下を助成対象とする場合がある。

2 審査項目及び配点

審査項目	評価ポイント	配点				
		低い ←				→ 高い
① 研究目的の明確性	研究目的と助成目的の整合性・研究目的がはっきりしているか	1	2	3	4	5
② 研究の独創性	研究内容の新鮮さ、斬新さ	1	2	3	4	5
③ 研究経費の適切性	用途の妥当性	1	2	3	4	5
④ 施策への反映性	呉地域への有益性 呉地域の将来の事業、施策（行政）への反映性	1	2	3	4	5
⑤ 総評・コメント（必須）	研究の優れている点、不足している点を記述する					
⑥ 2か年助成する妥当性	2か年継続して研究しなければ、十分な研究成果を期待できないのか					
⑦ 追加助成対象の賛否	4位以下を助成対象とすることとなり、当研究が4位以下の場合に、助成対象とする研究としてふさわしいかを判定する。					

※ 「⑥2か年助成する妥当性」は、研究期間が2か年の場合に審査する。

※ 得点が同点の場合、審査項目「④施策への反映性」の得点が高いものを助成対象とする。

[審査区分等]

- ・ 審査項目⑤は総合的な判断資料とするため、呉地域オープンカレッジネットワーク会議（以下「OCN」といいます。）プロジェクト委員会の全審査委員が記入する。
- ・ 教授部会委員、事務部会委員は、審査項目①～③及び⑥～⑦を審査する。
- ・ 学生部会委員は、審査項目①～②を審査する。
- ・ 行政職員は審査項目①～④及び⑦を審査する。

3 審査委員

OCNプロジェクト委員会委員24名及び呉市、坂町、大崎上島町の行政職員（各2名）

4 その他

審査委員が研究体制に加わっている研究については、その審査委員自身は採点しないものとする。